佐久市田口 史跡めぐり ウォーキングマップ

蕃松院 ⑧

徳川家康の支援のもと、佐久地方の平定を目指していた依田信蕃は、天正11年(1583)の岩尾城攻めで討死にした。長男の康国は徳川氏から松平の姓と小諸城、五万石を宛がわれたが、この康国が、父、依田信蕃の菩提を弔うために建立したのが蕃松院である。

でんわ

佐久市臼田支所	0267-82-3111
五稜郭であいの館	0267-82-0230
川村吾蔵記念館	0267-81-5353

鐘楼の横に戊申の役で亡くなった4人のお墓がある。

・磨崖青面金剛(市指定文化財)
五代不詳、横135cm、縦80cmで面を防ぐため57cm程石を抉り取り、奥を平面に削り、さらに5cmの縁取りがなされ、横35cm、縦32cm程の中央に「青面金剛」が彫られている。

※蕃松院の裏を回って一周する

依田信蕃の墓
弟源八郎の墓
磨崖青面金剛
五輪塔
・大給松平の菩提寺
・依田信蕃の菩提寺
蕃松院 ⑧
至JR龍岡城駅 1.4km
竹やぶ
鐘楼
仓の土蔵
田口会館
P
科形 ⑦
史跡 龍岡城址
※石垣と桜が美しい
太いケヤキ
勾行松
山門脇に石幢が並ぶ
松の下の石幢 文明14年(1482)
六地蔵幢 天和3年(1683)
柿の木
板塀のある家
城跡に至る
山道
畳3枚程の石橋を渡り石畳を歩く
薬用人参畑
龍岡城の御殿松
田口郵便局
田口児童館
(農地)
桜がきれい
招魂社
黒門
※見事な石垣が見られる
田口駐在所
砲台跡
※広々とした公園
五稜郭公園
田口小学校
学校プール
田口保育園
⑥ 川村吾蔵記念館 @¥300
※9:00~17:00、火曜は休み
龍岡橋
255側石垣が残る
龍岡橋南信号
至JR臼田駅
至田口峠
主要地方道 下仁田臼田線
雨川
史跡 龍岡城址
⑦ 史跡龍岡城址
この場所は龍岡城の北大手口にあたり敵の侵入を防ぐ攻撃的機能も兼備えた鉤の手状の枡形として良好な状態で保存されており貴重な遺構である。今も石垣が残る。

田口城跡 (881m)
清川地区から林道が来ている
林道10分程で本郭
展望台
五稜郭が良く見える
上り30分程

田口城跡

室町時代末期に地元の土豪田口氏が築城、戦国時代に武田信玄の佐久侵攻により落城し天文17年(1548)田口氏は滅亡。その後は、北条氏の相木氏系の依田能登守、徳川方の依田信蕃と支配されるが、戦国期に幾たびも兵害を経験した田口城も戦国時代の終焉とともに廃城となった。
蕃松院の背後に尾根のように続く山頂にある。今も曲輪や段郎の地形が見られる。

N ホーイ

⑨ 龍岡藩高札場
法度、捉書などを記した又重罪人の罪状を記入した板札を人目につく所に高く掲げた所。

※龍岡城から移築した薬医門
田野口藩の陣屋跡
龍岡藩 高札場 ⑨
あき地
龍岡城の御殿松
田口城登り口 (大手口)
火曜休み
地元の人が案内してくれます。お茶をどうぞ。
五稜郭であいの館
ミラー
薬用人参畑
④の土蔵
小林橋米所
小林の土蔵
コウヤマキの大木
見事な松のある大きなお屋敷
卿宿の家
中町
龍華山龍満寺
石垣が見られる
中町公会場
(人家が密集)
大給松平の家紋の入った瓦が見られる。
つた
蔦紋
(道路沿い人家密集)
(人家密集)
(人家が密集している)
浅川商店
川原宿集会場
名代公会場
名代橋
山口沢橋
大町橋
中戸井橋
ミラー
梵鐘
③ 上宮寺
金剛力士像
④
至日本で海から一番遠い地点・田口峠
(主)下仁田臼田線
至ブルーベリー園

御魂代石 (みたましろいし)
西本社と中本社の間に立つ不思議な建造物。高さ四尺ほどの胴石に六角形の笠石をのせてある。この胴石に龍のような動物が左右相称に彫ってある。

三重塔 ②
絹笠神社 (蚕の神)
新海三社神社
御魂代石
西本社、中本社 ①
東本社(重文)
※社務所の下に佐久の酒蔵の酒が並ぶ
拝殿
神楽殿
(神宮寺跡)
※16体の石仏道祖神が並ぶ
石垣が残る
福田稲荷神社
杉やヒノキ、ケヤキの林
弁天社宮殿の石祠
参道に献灯が多数
手水鉢がある
新海三社神社西本殿
しだれ桜
高橋酒店
直径2m以上もある見事なケヤキ
神社参道
新海神社鳥居

おすすめウォーキングコース(逆回りもOK)

JR臼田駅―(1.5km)―⑤五稜郭―(360m)―⑦枡形―(200m)―⑧蕃松院―(200m)―⑨高札場―(600m)―①新海神社―(500m)―③上宮寺―(700m)―⑤五稜郭―(300m)―⑥吾蔵記念館―(1.4km)―JR臼田駅

① 新海三社神社
佐久地方の開拓の祖神である興波波命と御父神「建御名方命(諏訪神社)」「事代主命(恵比寿様)」「誉田別命(八幡様)」の四神を祀る佐久三庄三十六郷の総社である。古来、武将の崇敬あつく源頼朝が社殿修理、武田信玄が元禄八年上州箕輪城攻めの際、戦勝祈願を奉って出陣した等の社歴がある。三社のうち東本社社殿が重要文化財である。

② 新海三社神社三重塔
(重要文化財)
新海三社神社にあった神宮寺の塔として建立され明治維新の排仏毀釈の際には神社の宝蔵として破却を免れ今も境内に残る。風鐸銘から永正十二年(一五一五)の建立とされる。
様式は、和様を主としつつ随所に禅宗様がとり入れられ初重と二、三重の垂木の方向の違いなどにそれが見られる。

③ 上宮寺梵鐘
(国重要美術品 県宝)
真言宗上宮寺鐘楼の梵鐘は、南北朝初期の作と鎌倉時代の風格を保つ。鐘身に陰刻の銘文には「信濃元年(一三二八)上州(前橋市)の東覚寺のために造られた鐘が、二百年後の天文十二年(一五四三)に田口城主田口左近将監長能から新海大明神拳寄進として神宮寺に納められたとある。

④ 金剛力士像(県宝)
新海神社境内にあった観音堂の仁王門であったが慶応四年の神仏分離令により、神宮寺のお堂とともに現在地に移された。
像の構造はヒノキや松材を使った寄木造りで、体内墨書銘から、造立は文明二年(一四七〇)であると判明した。

⑤ 龍岡城五稜郭
(国重要文化財)
慶応三年(一八六七)三河奥殿藩の土代松平乗謨のりかた(後の大給恒)によって築城された。函館の五稜郭とともに、日本に二つしかない貴重な星型要塞式城郭である。明治四年に城は壊され、石垣、御守所の建物が残っている。春、満開の桜が美しい。

⑥ 川村吾蔵記念館
川村吾蔵は、一八四七年、明治七年旧臼田村(現佐久市)に生まれ、芸術家を志し、二十歳で日本を離れ、米、仏でデッサンと彫刻を学ぶ。特に米国で、理想的体型の裸体像を制作し、一等の賞盃として名声を博した。一九四二年(昭和十五年)に帰国、終戦後は米海軍横須賀基地美術家高顧問として、マッカーサー元帥など数多の胸像などを制作した。

⑦ 史跡龍岡城址
この場所は龍岡城の北大手口にあたり敵の侵入を防ぐ攻撃的機能も兼備えた鉤の手状の枡形として良好な状態で保存されており貴重な遺構である。今も石垣が残る。

佐久市観光協会
交通事故に気を付けて楽しい街歩き
TEL：0267-62-3285　FAX：0267-62-2269
URL：http://www.city.saku.nagano.jp/kankou-k

無断複写、複製、転載することを禁じます(製作協力：中嶋 豊 氏)